

## 令和4年度学校評価における年度末の報告

進学指導部

点検・評価項目	自己評価	総括・意見等	特記事項
	優れている＝3 適切＝2 要改善＝1		
<p>1. 選抜クラスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディサポート、模擬試験の実施</li> <li>・スタディサプリの使用率向上</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年合わせて6クラス実施。進研模試の受験者数は各回数名にとどまった。</li> <li>・自習課題や長期休暇中の課題を配信し、学習の補助として重要なツールとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特進コースの生徒を除き、学校推薦型選抜(推薦入試)や総合型選抜(AO入試)で受験する生徒が多く、一般選抜による受験者数減少が影響していると思わ</li> </ul>
<p>2. 看護医療系について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募推薦、総合型選抜(AO入試)における合格者の増加</li> <li>・志望校の分散化</li> <li>・志望理由書の作成や面接対策の実施</li> <li>・オープンキャンパス等に積極的に参加させる</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度看護ガイダンス実施</li> <li>・例年、一部の学校に受験希望者が集中するが、今年度は各大学・専門学校に受験者が分散した。</li> <li>・進学指導部で担当者を割り振り、個別に対応を行った。</li> <li>・ポスター掲示やチラシの配布を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者28名(令和5年1月31日現在)</li> <li>・9月に看護ガイダンスを実施し、専門の講師による模擬面接や志望理由書の書き方を指導した。</li> </ul>
<p>3. 放課後特別講座について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科部門と検定部門の2本立ての実施</li> <li>・出欠席の管理を徹底</li> <li>・講座の改編(講座数の増加)</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ170名を超える生徒が受講している。多くの生徒が進学を希望しており、それぞれの目標に向けて努力している。</li> <li>・講座担当者が毎回出席確認を行い、欠席者へは担任を通じて出席を呼び掛けている。</li> <li>・21講座(28クラス)で実施。3年生小論文講座は7クラス編成で実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み後から小論文講座の受講者が急増した。</li> <li>・受験を控えた3年生は欠席が少ない。</li> <li>・各講座によって受講者数のバラつきがある。</li> </ul>

点検・評価項目	自己評価	総括・意見等	特記事項
	優れている=3 適切 =2 要改善 =1		
<p>4. 併設校入試について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度進学予定者</li> <li>・併設校入試の利用呼びかけ</li> <li>・併設校との協力</li> <li>・特待生選抜</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清和大学 併設校入試20名 総合型選抜3名</li> <li>・清和大学短期大学部 併設校入試37名</li> <li>・年度当初から、併設校進学への呼びかけを行った。</li> <li>・併設校担当者と密に連絡をとり、協力体制の強化を図った。</li> <li>・LHRを利用し、併設校説明会を実施。</li> <li>・情報と法コースの説明会を2度実施。</li> <li>・過去問を利用し、対策を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型選抜Ⅳ期1名 一般選抜1名 出願予定(1月31日現在)</li> <li>・併設校を勧めやすくするための新たな企画や資料作成を大学に依頼。</li> </ul>
<p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学実績100%</li> <li>・進学後にも通用する学力をつける</li> <li>・入試改革や新制度の理解と情報共有</li> <li>・3学年担任への情報発信・情報共有</li> <li>・オープンキャンパスへの参加を促し、ミスマッチを防ぐ</li> <li>・ガイダンスの充実、及び受験への意識を高める</li> <li>・指定校の枠を増やす</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接指導や放課後特別講座を始め、進学指導室においても丁寧な指導を実施している。</li> <li>・放課後特別講座において、学力の養成に努めている。</li> <li>・各大学の入試説明会に参加し、入試変更点等をクラス担任と情報共有を行った。</li> <li>・「進学だより」発行により、情報発信を行った。</li> <li>・進路ガイダンスを通して、積極的にオープンキャンパスに参加するよう促した。</li> <li>・進路ガイダンスの実施 3年生2回 2年生2回 1年生1回(2月7日実施予定)</li> <li>・今年度、大学5枠増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般選抜の結果が出揃った後、合格率を算出する予定。</li> <li>・東海学院大学</li> <li>・東洋大学(生命科学科・応用生命科学科)</li> <li>・東邦大学(生物分子科学科)</li> <li>・関西国際大学</li> <li>・フェリス女学院大学</li> </ul>